

参加団体・参加者	参加者発言内容	知事発言内容	参加者の発言に対する県の考え方	担当課
<p>麻倉プロジェクト推進の会 小田 時男様 他6名 (大町市)</p>	<p>○アート&クラフトをとoshた町づくり、地域づくりについて</p> <p>1 町づくり、地域づくりについて</p> <p>①田園風景、水の色、水のおいしさ、こういうアートを含めて、県下4地域がそれぞれの棲み分けで、ここでしか見えない景色、ここでしか味わえない季節感みたいなものが、点ではなくある程度大きい括りができると、今の点がもう少し結びつくのではないかと。 たとえば、アートラインを周遊のバスが地域を超えてグルグルまわっている。それから、自転車も乗り捨てができて、その自転車を運んでいただける方がいれば、池田・松川までは自転車で乗っていくことができる。 地域ごとの競争よりも、競争相手は他県の話なので、長野県ではとくに特徴のある景色を見出していく必要があるし、田園の景色というのは素晴らしいアートだと思う。</p> <p>②他県に比べると、長野県は意識の高い人が結構多い。企画力も皆あるが、企画力がある者同士だと、なかなかお互いに気がつかない。県の方で全体の取りまとめをするようなシステムを構築できれば嬉しい。 県はプロデューサーのようなもので、色々なものをコーディネートする役割を有する。県が皆の活動をコーディネートしていただけると良いと思う。</p> <p>2 安曇野地区の自転車道路について</p> <p>①安曇野に観光客が来て自転車で市内を回りますが、ラインと土手の間が狭い箇所が多くあり、自転車が渋滞している。歩道は広く拡張されているが、自転車などのことは考えて設計されていない。 そのため、やむをえなく車道を走らなければならなくなり、危険なため自転車道路は必要だと思う。</p>	<p>・長野から横浜へ行ったとき、色々な県のポスターを見たが、長野県の観光ポスターはどちらかというと個別の観光地が多かった。それはそれでいいが、知らない人は、あれを見ても点のイメージでしか湧いていないのではないかと。市町村の境を超えたPRとか連携が乏しいなとずっと感じている。 ・アートラインみたいな話も、もう少し県が一緒になって、やれるようにしたい。</p> <p>・県が声をかけるというのはどうかなという気がしている。それぞれの良さを伸ばす方法でないとダメなのではないかと。私も一緒にやりますから、地域の皆さんも意識的につながっていただいて、渡邊さんがおっしゃったみたいに、長野県内の地域で競争しているのではなく、日本や世界のほかの地域と比べて、「信州はすごいところだね。いいところだね。」ということと一緒に作りたい。 ・地域で、麻倉みたいな活動をしている人たちがどれ位いるのか。そういう活動をやっている人たちをリストアップして、県と協働でできることはどういふことがあるのか、お互い持ち寄れることは何があるのか、情報交換をしたらどうか。</p> <p>・歩道が広くて自転車が通れる所がないというようになっていいる。 ・例えば、利用者とか、レンタルサイクル事業者など関係者からの意見を参考に改良すればいいのではないかと。</p>	<p>・長野県は県土が広く、観光資源が豊富にあることから、各地域の特性を活かしながら他の観光地との違いを明確にした観光魅力づくりを引き続き行ってまいります。また、高速交通網の進展等を踏まえ、広域的な観光ルートづくりや誘客宣伝活動を一層強化し、点ではなく面での観光を推進してまいります。</p> <p>・長野県の魅力を県外に伝えるために、どのような連携が可能か、地域で活動する皆様と意見交換を行いながら検討してまいります。</p> <p>・自転車は、自動車と同じく「車両」にあたり、その走行方法は原則「車道」となっています。 このため、県では、長野県公安委員会と共に、自転車走行環境整備のため、道路の幅員構成を見直し、「自転車道」の設置及び車道に「自転車専用レーン」の設置、歩道に歩行者と自転車の通行を区分する「自転車通行位置の明示」を行うなど、計画整備を進めています。 なお、安曇野地区では、安曇野市と安曇野建設事務所が、共同の自転車対策プロジェクトを立ち上げており、交通量の調査を始め自転車走行ネットワークの作成に着手したところです。計画策定にあたっては、自転車利用者及びレンタルサイクル事業者等幅広く意見を聴取し、意見を計画に反映したいと考えています。</p>	<p>観光振興課</p> <p>道路管理課 道路建設課</p>